

世界一チャレンジしやすく、新たな価値を生み続ける都市

2014年6月28日

福岡市長 高島 宗一郎





## 福岡型のエコシステム

～チャレンジする人・再チャレンジする人を応援～

創業に必要な機能を詰め込んだスタートアップ・コミュニティの交流拠点



- 在留資格「**創業**」の新設（現在は「投資・経営」で対応）
  - ×事業資金500万円 → もっと低く！
  - ×事業所の確保 → 民間**レンタルオフィス**も可
 事業の継続性があれば、赤字でも在留期間更新

【福岡市でできること】

- 事業計画や資金力を市が審査し、実現性の**保証書類発行**
- 外国人起業家を支援する**ワンストップサービスを提供**

- 外国人雇用に係る**提出書類の簡素化**
  - ×上場企業だけ → **中小企業も対象に**

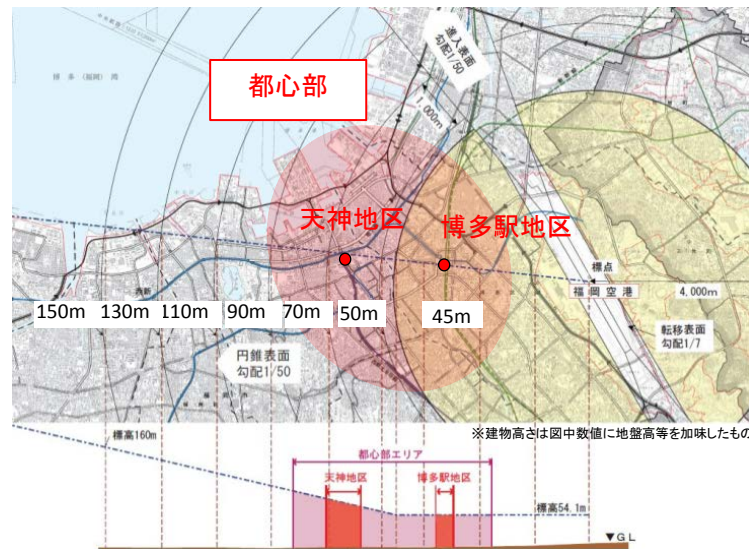
- **雇用を容易にする仕組みとして**
  - 大学等の専攻で在留資格を認定、「人文知識・国際業務」の初回更新時の審査要件緩和、研修での他業務従事は資格外活動許可を不要に。

- **留学生の採用前提としたインターンシップの実施**
  - 卒業後の**就職活動期間を延長**（最大2年），その間は生計維持のためアルバイト可

外国人の創業を支援  
地場中小企業のグローバル化に資する外国人材の確保



福岡は空港に近い、ビジネスに便利  
しかし・・・**航空法による高さ制限**



福岡都心部は多くのビルが更新時期を迎えている

- ✓「容積」の緩和（福岡市の容積率緩和制度創設）
- あとは、「高さ」の緩和

例えば・・・  
市役所に近い明治通り周辺  
67m（地上15F）  
↓  
**76m（地上17F）**

**エリア単位での承認**により（現在個別審査）

新たな企業立地などを促す魅力的な環境づくり

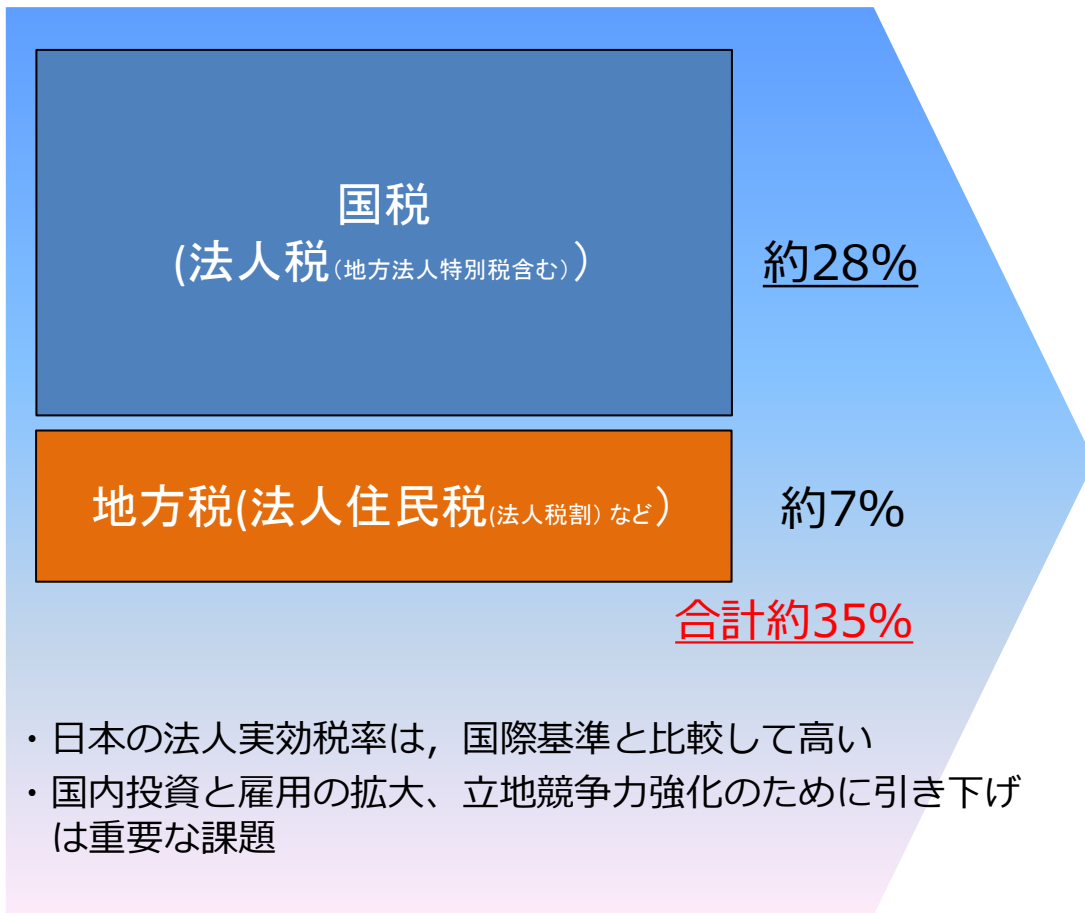
- シンボリックな建物建設
- 低層部のゆとりある空間の確保
- 魅力ある街並みの形成など が可能に

更に都心部の機能更新がスピードアップ

新たなビジネスや価値を生み出す創造的な場の創出



## 福岡市の現行の法人実効税率 (一定の条件による計算)



アジアの競合  
シンガポール 17%

## スタートアップ法人減税

スタートアップに着目した法人実効税率の引き下げ

<対象>

福岡市内に本社を置く

設立5年以内の企業 (一定の要件あり)

創業・対日投資  
促進

そのほか、検討中の規制改革事項

税制

- ✓ 企業のベンチャー投資税制の対象ファンドに係る要件の緩和
- ✓ エンジェル税制における対象企業要件の緩和

創業支援

- ✓ 創業期の企業を支援するための随意契約要件の緩和
- ✓ 雇用保険給付の拡大
- ✓ 創業期の企業におけるインターンシップの活用

< 参考資料 >



## 1 ビジョンの概要

～施策・規制改革・税制の**政策パッケージ**で一体的に推進～

- 福岡市が目指すのは、人口や経済規模で一番になることではなく、人と環境と都市の調和がとれた都市である。例えばシアトルのように、そこで暮らす人々からクリエイティブな発想が次々と生まれ、新しい価値を生み続ける都市である。
- 本ビジョンは、「グローバル創業都市・福岡」の**目指す姿**、**道筋**、**政策パッケージ**などを体系的に示すものである。

### 目指す姿

#### 世界一チャレンジしやすく、新たな価値を生み続ける都市

- (1) 創業や第二創業、再チャレンジが実現しやすい、エコシステムを持つ都市
- (2) グローバル市場と容易にアクセスできる自由都市
- (3) グローバルビジネスを進めるための都市機能が整っている都市

### 成果指標 (KPI)

平成30年度

- ・開業率：**13.0%**
- ・年間新規雇用者数：**20万人**

(平成24年度：6.2%，15万人)

### 背景

＜なぜグローバル創業都市が必要なのか＞

- ・創業5年以内の若い企業がより多くの雇用を生む！
- ・新たな価値、イノベーションを生む！
- ・アジアとの共創、グローバルな活動で世界へ飛躍！
- ・都市が活性化し、市民が元気で豊かに！

＜それに適した福岡市のポテンシャル＞

- ・自然と都市機能が近接するコンパクトで暮らしやすいまち
- ・全国の大都市の中で特に高い開業率
- ・増加する人口、高い若者比率、豊富な理系学生と留学生
- ・交通インフラの整備、アジアとのアクセスの良さ など

### 国家戦略特区

取組推進の**エンジン**

=大胆な規制・制度改革により  
これまでの取組をさらに加速！

### 実現のための道筋

- ①多様な人材・企業のチャレンジを促す、応援コミュニティの機能を高める
- ②海外との盛んな交流により、チャレンジする市場を拡大させ続ける
- ③グローバル都市に必要な高度な機能を整備・更新し続ける

**福岡市の成功モデルを全国に拡げ 日本の成長へ！**

## 2 ビジョンの体系と政策パッケージのイメージ

<p>目指す姿</p>	<p><b>世界一チャレンジしやすく、 新たな価値を生み続ける都市</b></p> <p>成果指標 (H30年度) 開業率: <b>13.0%</b> / 年間新規雇用者数: <b>20万人</b> (現状: H24年度) (6.2%) (15万人)</p>		
<p>実現の 道筋</p>	<p><b>(1) 創業や第二創業, 再チャレンジが実現しやすい, エコシステムを持つ都市</b></p>	<p><b>(2) グローバル市場と容易にアクセスできる自由都市</b></p>	<p><b>(3) グローバルビジネスを進めるための都市機能が整っている都市</b></p>
<p>政策パッケージ</p> <p>★は特区の区域方針に示された事項</p>	<p>①多様な人材・企業のチャレンジを促す, 応援コミュニティの機能を高める</p> <p>○チャレンジ・再チャレンジの気運を高め, 裾野を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ奨学金の運用</li> <li>・チャレンジマインド教育 等</li> </ul> <p>○厚みのある応援コミュニティが創業者を助け, イノベーションを促す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ・カフェ, ワンストップ窓口, <b>雇用労働相談センター★</b></li> <li>・スタートアップ法人減税</li> <li>・インキュベーション施設</li> <li>・スタートアップ資金(融資制度) 等</li> </ul> <p>○成長企業を大きく育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルベンチャーアワーズの運営</li> <li>・民間ファンドとの連携</li> <li>・重点分野振興 等</li> </ul>	<p>②海外との盛んな交流により, チャレンジする市場を拡大させ続ける</p> <p>○魅力的なMICE開催の場づくり・都市づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニークベニューの開発</li> <li>・<b>(エリアマネジメント民間開放, 古民家等の活用★, 魅力的な都市空間での開催促進)</b></li> <li>・出入国手続の迅速化・円滑化 等</li> </ul> <p>○活発なビジネス交流を担う人材と組織を育て, MICEの機会そのものを増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Meeting Place Fukuoka 活動強化</li> <li>・大学・企業等の国際会議開催促進 等</li> </ul> <p>○対日進出を促進することで福岡のグローバルビジネス環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致活動 等</li> </ul> <p>○海外展開を後押しすることで地場企業のグローバル化を加速させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大支援 等</li> </ul>	<p>③グローバル都市に必要な高度な機能を整備・更新し続ける</p> <p>○グローバル企業の社員とその家族が住みやすい都市機能を実現する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>在留資格の見直し★</b></li> <li>・<b>外国人向け医療環境の整備★</b></li> <li>・国際的教育環境の向上</li> <li>・外国人の暮らしの利便性向上 等</li> </ul> <p>○グローバル企業が価値を創出しやすいクリエイティブなビジネス環境を実現する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内通信環境の改善</li> <li>・空港機能の強化</li> <li>・港湾機能の強化</li> <li>・クリエイティブ街区の形成 等</li> </ul>
<p>(備考)平成26年度上半期を中途にビジョン(案)を取りまとめ, 同年度中の策定を目指す。 (その後も随時改定していく予定)</p>			